

国際会議から 動力エネルギー国際会議 (ICOPE 2013)

本会議はガスエンジンや燃料電池といった動力エネルギー全般に関する学会です。第1回が1993年に東京で開催され、現在は日本機械学会、米国機械学会、中国動力行程学会により、2年に1度開催されています。第11回となる今回は中国・武漢で開催されました。

本会議では、学術的な研究から新しいプラントの大型プロジェクトの報告など幅広いテーマを扱っていることが特徴でした。

筆者はパワーシステムのセッションで廃熱回収サイクルのシミュレーションについて口頭発表を行いました。その他の発表内容では石炭火力発電の排気ガスに関するもの、ガスタービンへの加湿に関するもの、二酸化炭素の貯蔵技術に関するもの、燃料電池に関するものなど幅広く、さまざまな分野の情報を得ることができました。全体としては中国



菅野 普
車両制御技術研究部
動力システム研究室
研究員

での開催ということもあって、中国での地熱発電の可能性や、排気ガス浄化などの発電プラントに関する技術の導入例または適用可能性についての内容が多い印象を受けました。

会議開催地の武漢では高速鉄道の建設が進められている最中でもあり、発展する都市の大きなエネルギーに圧倒される日々でした。

なお、本発表内容の一部は科学技術振興機構の委託研究費を受けて実施しました。



会場の様子



武漢の街並み

正式名称：International Conference on Power Engineering-2013
開催国：中国(武漢)
期間：2013/10/23-27
主催：日本機械学会、米国機械学会、中国動力行程学会
開催頻度：隔年
次回開催予定：2015年12月 日本(横浜)
ホームページURL：<http://www.icope-2013.org/>